

高山・市民の森 森林教室実施報告書

「森林散策と間伐材利用のバターナイフ・名札作り」

実施年月日 平成25年 9月 8日

- 1 実施日時 平成25年 9月 8日(日) 10時～14時40分
- 2 参加講師名 NPO 森林インストラクターしずおか(担当者) 中川・矢下
アシスト会員 井上、内野、大石、小嶋、越智、杉山、早川、増田、
- 3 参加者 親子10組 24名 (大人10名 子ども14名)
- 4 概要

スケジュール

- ・ 10時～12時00分 森林散策・自然観察
- ・ 12時00分～13時00分 昼食・休憩
- ・ 13時00分～14時30分 バターナイフ・名札作り
- ・ 14時30分～14時40分 片付け、解散

「森林散策及び自然観察」

当日の天気予報は雷・雨ありの荒れもよう、その為かキャンセルが3組あったが、散策出発後しだいに天気は回復し帰りには青空も見える程になった、

- ① 10時から森林散策を開始した、まだ霧の中に山々の浮かぶ幻想的な雰囲気の中、参加者に3グループに分かれて貰い夫々インストラクターが案内した。
- ② 各班とも龍伝説の池・その南側展望台等の周辺を重点に散策をした、展望台からはクサギ・ヌルデの花・ミズキの実が樹木を彩る先に新東名・小瀬戸まで遠望でき参加者は大変喜んでいて、又四阿のベンチ下にはアリジゴクの巣が無数にあり子供達の興味をそそった他、ノリウツギ(園芸種ミナヅキ)のドライフラワー・アナグマの巣等日頃見られないものもあり、インストラクターの面白い説明とも相まって参加者は自然に対する造詣を更に深めていた、

「間伐材利用のバターナイフ・名札作り」

- ① ナラ・キハダ等の間伐材木型から紙やすりでバターナイフを作り、時間が余れば名札を作る予定であったが、大人も子供もナイフ作りに熱中し殆どの時間をこれに費やし最後にクルミ油を浸みこませ完成させた、柄に熱ペンでマイネームを入れるなどの工夫もあり、皆さんに満足して頂いた、
- ② 名札作りは子供さん主体となった、自分の頭文字しか知らない子もマジックでその字を書いてお母さんに嬉しそうに見せる等、親子の絆が更に深まった様である、

以上のとおり、報告します。

添付資料：森林教室写真

NPO 森林インストラクターしずおか
理事長 藤田 久男



おとうさん、その葉っぱどんな匂い？



すみれの下にいた、この虫な～んだ？
(ツマグロヒョウモンの幼虫です、
ささないよ)



お母さんいい匂いでしょう！
(クサギの花です)



この変なの、なに？
(ツチグリだよ。食べられるよ)



一生懸命ナイフの形づくり
(バターナイフを削っています)



早く、わたしに木の札ちょうだい
(名札を早く作りたいよ)